

選ぶ・歩む・拓く

○ 私立推薦出願

本日、約40人の学年の仲間が、出願に出かけます。今回は出願に行かない多くの生徒にとっても他人事ではありません。大切な場面を迎える仲間が、出かける日に身だしなみが整っていなければ指摘してあげましょう。不安がっている人は励ましてあげましょう。浮ついている様子であれば、少し厳しい声かけも必要かもしれません。受験(受検)が近づいてきました。これから先は、自分も含め一緒に学んできた仲間が人生の転機を迎えることとなります。心細い思いをしている人もいることでしょう。ぜひ温かい言葉をかけあって進んでいってください。

○ 教育相談に向けて

28日(水)から教育相談が始まります。ここでは主に、公立高校受検について担任の先生と相談します。これから私立で大切な試験がある人が多いのですが、その先のことも考えて、決めていかなければいけません。2学期の私立高校を決めたときと同じように、「教育相談でほぼ決定」→「個人懇談では確認」としていきましょう。以下のことをお家の人と話し合い、担任の先生に確実に伝えましょう。

- 公立高校の希望が前回の進路希望調査から変更するかどうか確認する。変わる場合は教育相談以前に担任の先生に連絡しましょう。
- 私立高校と合わせた希望の順位を確認しておいてください。下の例のように、私立の結果に応じて、的確に公立の受検ができるよう、お家の人と話し合って整理し、教育相談で答えられるようにしておきましょう。

例：公立と私立を2校ずつ受検(受験)する予定で、順位が次のようである場合。

順位	第1希望	第2希望	第3希望	第4希望
学校	私立X高校	公立A高校	私立Y高校	公立B高校

この場合、私立X高校が合格であれば公立は受検(出願)しない。

X高校が不合格、Y高校が合格であれば、公立はA高校のみの受検。

《体験入学情報》

○ 菊華高等学校(私立高校)単位制通信制課程

- 内容：受験相談会(説明会)
- 日時：1月24日(土)、2月21日(土) 13時～
3月28日(土) 9時～
- 場所：菊武ビジネス専門学校 3号館教室
- 今年度から新設される単位制通信制課程普通科のスクーリングやレポート指導についての具体的な説明があります。参加したい生徒・保護者の方は当日の1週間程度前までに担当の村瀬までお知らせください。24日についてはできるだけ早めに伝えてください。

● シリーズ「私の進路選択」⑧

第8弾は、お茶とお華もたしなむ永遠のサッカー小僧…三塚康治先生です。

試合終了…。中学校生活の部活動が終わった。県大会準決勝のPK負けで3位。小学校3年生の時に友達に誘われ何気なく入ったサッカークラブ、中学校で部活に入り、毎週土日休みもなく一蹴りに打ち込んだ暑い戦いが終わりをつげた。その時点では、大好きなサッカーを続けたくプロサッカー選手になる夢を追いかけて、親の反対を押し切ってまで、スポーツ推薦で高校進学を決めた。しかし現実はそんなに甘くはなかった。高校では、人生初の球拾いと球磨きからやらされ、先輩が練習する時間はひたすら走らされ、自分たちは2時間程度ボールを触らせてもらえるぐらいだった。その2時間の練習とランニングで認められ、Aチームに呼ばれ、他の県の強豪校と練習試合をしていく日々が続いた。大会に勝ち進んでいくと、必ずいずれかは負け、勝ち残った者だけがプロに入る現実気付いた。冬の選手権大会で先輩が引退し、「全国大会に進まない限り、進路先がないぞ」と言われる厳しい現実…。就職先を急いで探す先輩たちの姿を見て、自分は、「このまま大好きなサッカーを3年生の冬まで続け、就職するのか…いや自分は大学に行き、大好きなサッカーを4年間またやりたい」と考え、監督や仲間には頭を下げ早期引退をした。仲間の試合は応援をしながらも毎日塾で勉強し、大学に進学をした。

そして大学生になった自分は、サッカーに携わった仕事に就きたいと考え始め、スポーツインストラクターや指導者や審判などの道考えた。

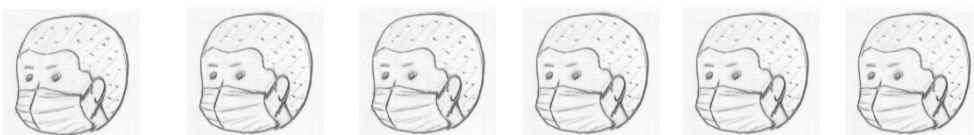
中学校での同窓会で、当時、お世話になった教師に再会。その教師から「当時、なぜ大会でお前にPKキッカー1番を指名したのか分かるか？」と言われ、「どうせ僕が、外してもヘラヘラしているからですよ！？」と答えたら、恩師の返答は違った。「三塚は、誰よりも早く練習に来て、みんなと話し、困っている仲間を助け、そしてサッカーを1番楽しみ、なによりチームスポーツの1番大切なことを理解しているからだ」と語ってくれた。自分にはチームスポーツの1番大切なこと！？恩師が言いたかったこと！？が未だによく分からない。しかし、この再会と言葉こそ「教師」という職業を目指そうと考えた時である。

そして自分は、大好きなサッカーに携わり、そして自分がお世話になった恩師の言葉の答えを見つけるためにも「教師」になるしかないと考え、運動もしながら「教師」なる夢をもった。

現在「教師」になって、まだ恩師の言葉の答えは見つかっていないが…みんなから1人でも多くの教え子に「三塚に出逢えて良かった」と思われるような「教師」を目指し日々頑張っている。

みんなも夢があると思うし、その夢に向かって努力してほしい。しかし、夢に躓いたり、誰かと出逢い、その夢が変わることもあると思う。長い人生、何があるか分からない。しかし、「夢」と「人との出逢い」を大切にしてほしい。

「つまづいたっていいじゃない 人間だもの」



三塚 康治